



郷小だより

茅ヶ崎市立浜之郷小学校

2026年4月6日

4月号

校長 安倍 武雄

学校教育目標 ～支えあう・聴きあう・学びあう～

子どもたちが自分を再発見し、友だちを再発見し、学ぶことの価値と意味を再発見して「人生最高の6年間」を生み出す学校、そして、その営みを通して教師も親もともに育ちあう学びの共同体としての学校でありたい。

菜種梅雨と寒の戻りが続き、春らしい日が待ち遠しい感じがします。気温も低めだったおかげで、正門前の桜も散り際だけれど皆さんの進級と、新入学をお祝いしてくれているようです。一つずつ学年が上がった2年生から6年生のみなさん。進級おめでとうございます。また、新たに浜之郷小学校に入学した1年生のみなさん。ご入学本当におめでとうございます。みなさんが学校にそろそろのを今か今かと待ち遠しく思っていました。

今年度も浜之郷小学校の校長を昨年に引き続き務めさせていただく安倍武雄と申します。今年度も学校にかかわる全ての方の声に耳を傾けながら学校経営を行って参りたいと考えております。校長とのお話会や学習参加も継続します。どうぞ学校にお越しください。

本校は今年度、新たに77名の1年生を迎え、1～6年全て3クラス18学級、郷の子教室4学級、総勢531名でのスタートとなります。教職員は、教頭をはじめ新たに11名が着任しました。教職員が一丸となり子どもたちを支えてまいります。全ての子どもたちが自分の居場所を感じることができ、学びがいのある学校づくりに努めてまいります。

学校だよりの冒頭に浜之郷小学校の学校教育目標を紹介させていただきました。少し説明させてください。例えば、背が高い・低い、目がいい・眼鏡をかけている、本が好き・運動が好き、…。生まれもったもの、後天的なもの、好き嫌い、得意不得意など違って当たり前です。そこには優劣などなく、だれもが大切な一人の人間であり、誰もが尊重されるべき存在なければなりません。だからこそ、その違いを互いに認めあうことから全てをスタートさせていきたいと思うのです。友達も、先生も、保護者も、地域の方々も全ての浜之郷小学校にかかわる人々が互いに認めあう中で、さらには互いをリスペクトしつつ「支えあう・聴きあう・学びあう」(＝互いの弱みや強みを生かし、対話を通して互いの思いをうけとめ、自分なりの納得感を得る学びを日常化する)学校を目指していきます。そして、結果的に学校にかかわる人、全ての笑顔が輝くよう力を尽くしてまいります。

子どもたち一人一人の豊かな成長のためには、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力が欠かせません。学校からの情報発信も可能な限り行ってまいります。ぜひ、子どもを真ん中にして、学校、保護者、地域が一丸となり子どもたちの成長を支えていくことに、どうか力を貸してください。今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。